

我が家の防災メモ

家族で話し合ってお書き込みしましょう。

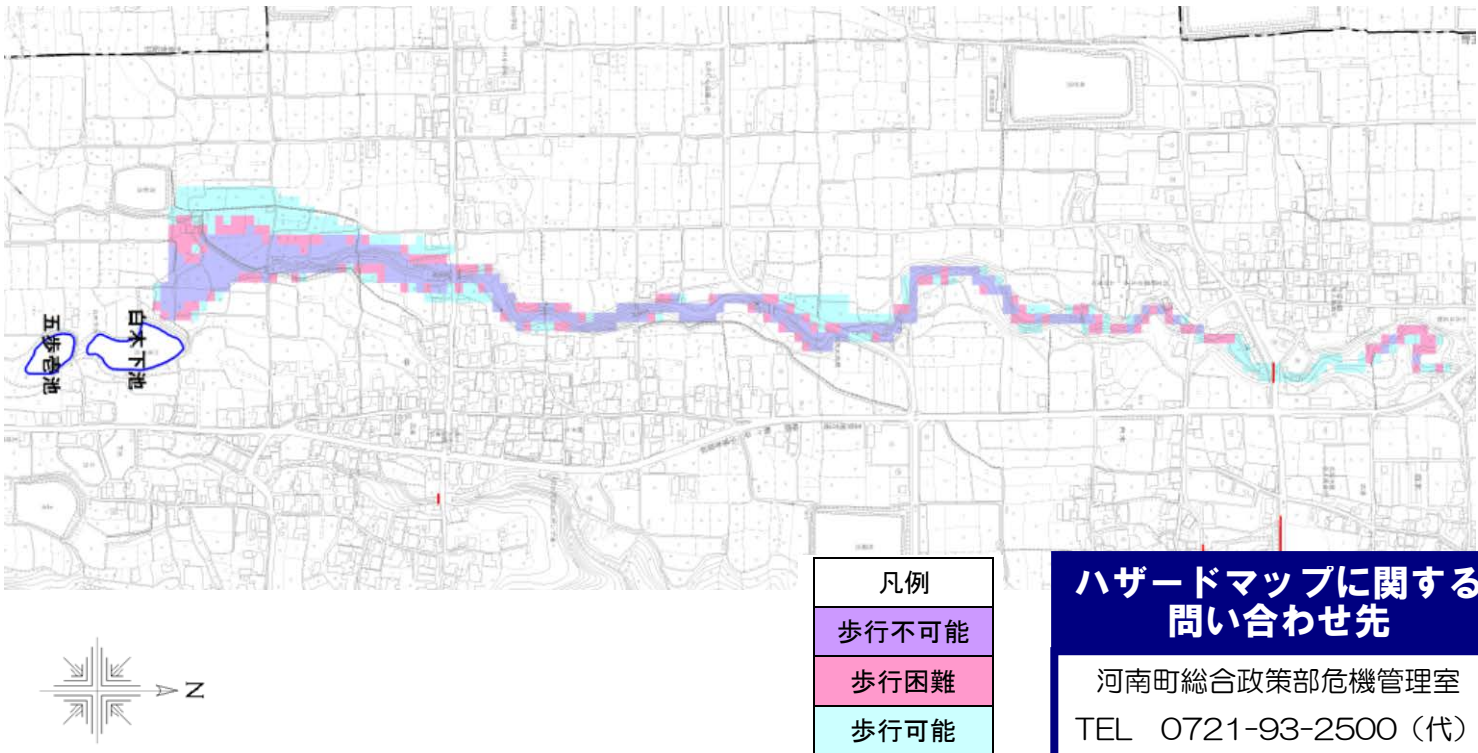
我が家の避難場所：				非常持ち出し品チェックリスト	
家族の集合場所：				<input type="checkbox"/> 懐中電灯	(<input type="checkbox"/> 電池)
緊急時の連絡先：				<input type="checkbox"/> ろうそく	(<input type="checkbox"/> マッチ)
家族の氏名	生年月日	血液型	携帯電話／会社・学校の連絡先	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	(<input type="checkbox"/> 電池)
				<input type="checkbox"/> 水	
				<input type="checkbox"/> 食料品	(<input type="checkbox"/> 缶切り)
				<input type="checkbox"/> 医療品	(<input type="checkbox"/>)
				<input type="checkbox"/> 現金・貴重品	(<input type="checkbox"/>)
				<input type="checkbox"/> 衣類 (雨ガッパ・下着等)	
メモ				<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	

雨の降り具合で危険度をチェック

<p>やや強い雨</p> <p>1時間に10~20mm</p> <p>地面からの跳ね返りで足元がぬれる。</p>	<p>強い雨</p> <p>1時間に20~30mm</p> <p>地面一面に水たまりができる。どしゃ降りの雨。</p>	<p>激しい雨</p> <p>1時間に30~50mm</p> <p>バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり危険地域では避難の準備必要。</p>	<p>非常に激しい雨</p> <p>1時間に50~80mm</p> <p>滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなる。土石流など多くの災害が発生する。</p>	<p>猛烈な雨</p> <p>1時間に80mm以上</p> <p>息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。雨による大規模な災害の発生するおそれ強く厳重な警戒が必要。</p>
--	---	---	---	---

浸水後の歩行による避難の困難度について

シミュレーションにより算定された各地の浸水深・流速から歩行困難度を整理しました。



五歩壺池・白木下池ハザードマップ

ハザードマップについて

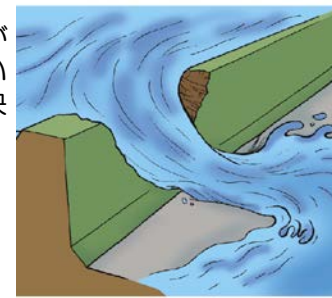
このハザードマップは、大雨等により、万が一ため池が決壊するおそれがある場合の備えとして、安全な避難行動に役立てるための情報を提供する目的で作成しました。

- 日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路や家族の連絡先などを書き込んで確認しておきましょう。
- 浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主避難を心がけましょう。
- いざという時に落ち着いて行動できるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。

こんな時は要注意！！

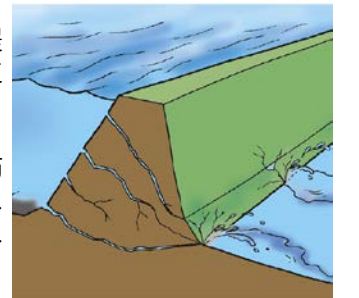
～大雨のとき～

大雨のとき、ため池の水位が上昇し堤防を越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊する可能性があります。竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越えしやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。



～大地震のとき～

大地震のときに、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じたり、地盤の液状化により決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐え切れず決壊に到ることがありますので注意が必要です。



いざ！というときに備えて

～避難場所と避難路の確認をしておきましょう～

水は高いところから低いところに流れます。道路は流れの強い洪水の通り道になります。洪水になったらどう避難するか、地形を見て確認しておきましょう。



～正確な情報収集と自主的な避難を心がけましょう～

ラジオやテレビで正確な情報を収集しましょう。危険を感じたら、町・警察・消防署等に連絡するとともに、自主的に避難しましょう。



～非常持ち出し品を常備しましょう～

いつでも避難できるように非常持ち出し品を準備しておきましょう。

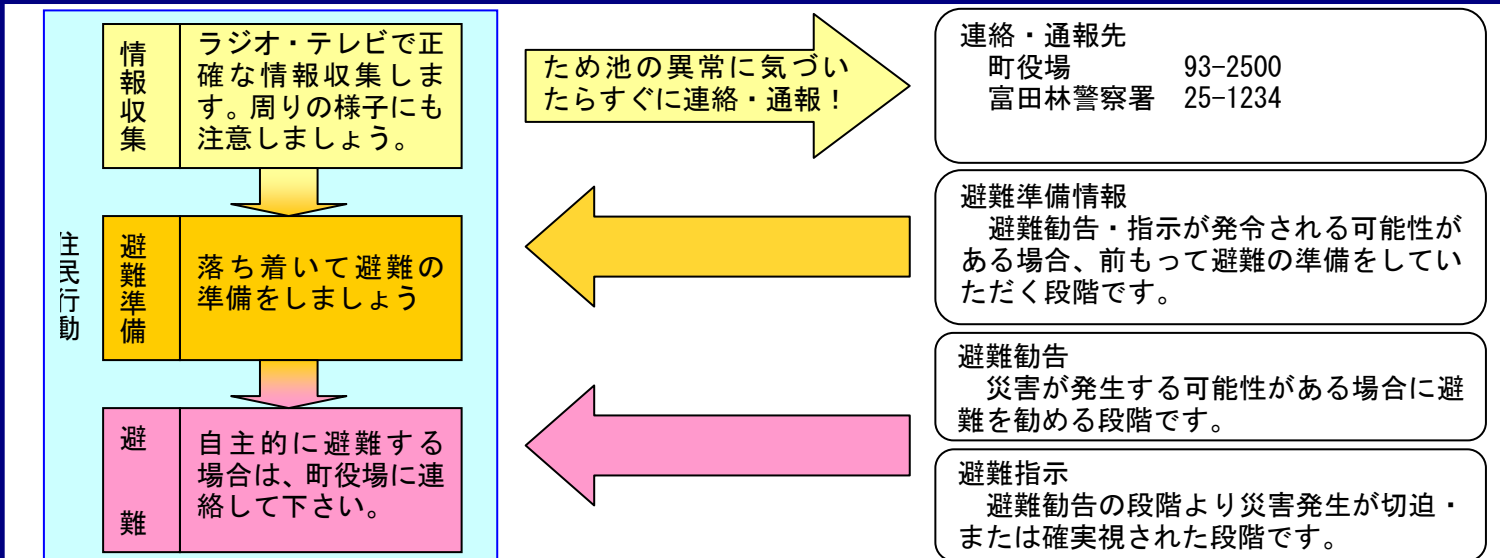


～避難の呼びかけに注意を払いましょう～

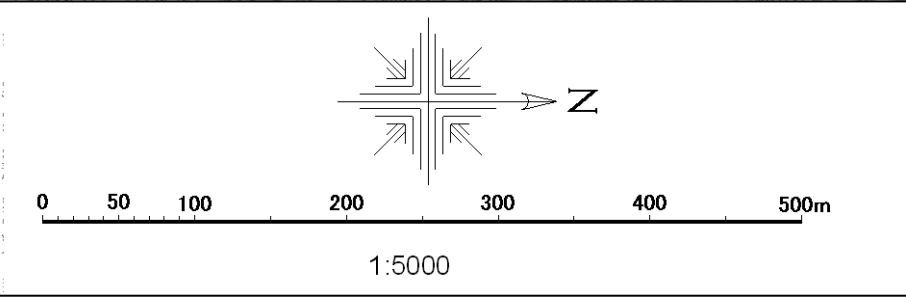
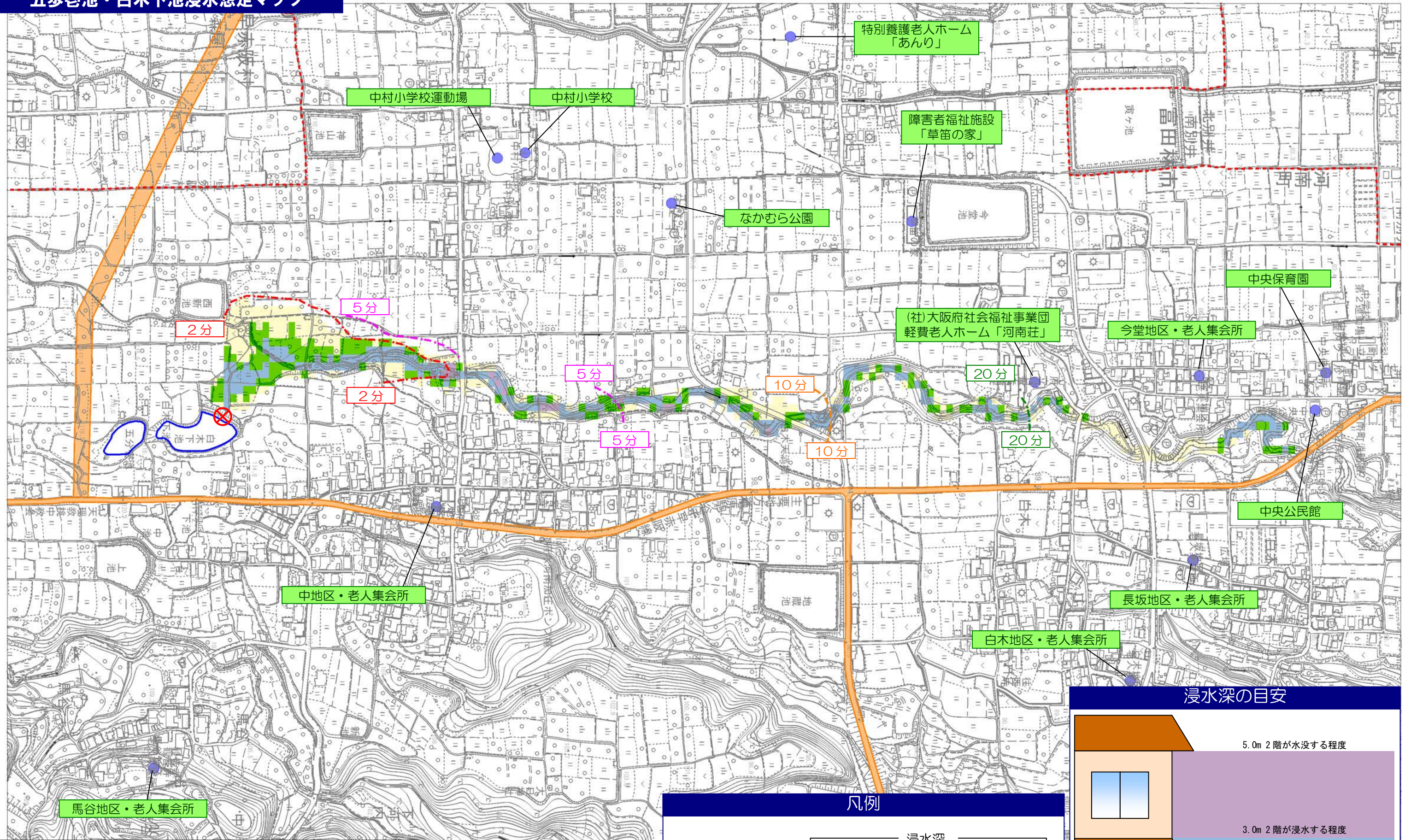
危険が迫ったときには、町から避難の呼びかけをすることがあります。テレビやラジオ、サイレン音などの情報に十分注意し、呼びかけがあった場合は、速やかに避難して下さい。



避難！！そのときに・・・



五歩寄池・白木下池浸水想定マップ



凡例

	市界		浸水深 0.1m ~ 0.5m未満の区域
	ため池		0.5m ~ 1.0m未満の区域
	避難場所		1.0m ~ 3.0m未満の区域
	主要道路		3.0m ~ 5.0m未満の区域
	破堤点		

